

終業式での「校長講話★学びのデザイン」です。

3月19日(木)、令和元年度の終業式を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として、総合実践室からの実況生中継で、各教室のスクリーンに配信しました。終業式の後、3年次の修了式を同じ形式で実施しました。終業式での校長講話を掲載します。

◆終業式での「校長講話」◆ タイトル：「学びのデザイン」

- みなさん、お久しぶりです。本日の講話は、約7分間です。私は、現在60歳ですが、後悔している4年間があります。それは、筑波大学生時代の4年間です。中学校時代はバスケットボールを夢中でやり、高校時代は、毎日一生懸命勉強していました。しかし、大学合格と同時に、好きなこと以外は、真面目に勉強しなくなったのです。大学時代の家庭学習時間は、テスト前以外は、ほとんど0時間でした。高校時代に1日平均7時間も勉強していた私が、なぜ勉強しなくなったのか。それは、高校時代の私は大学に入るために勉強していたのであって、「真のアクティブラーナー」にはなっていなかったのです。よって、予習復習や小テストや定期テストから解放された瞬間、机に向かわなくなったのです。抜群の環境にいた4年間にもっといろいろ勉強をしておけば良かったと後悔しています。
- さて、3月4日～昨日までの15日間、皆さんの生活はいかがでしたか。自分で学びをデザインして充実した15日間でしたと胸を張って言える人は「真のアクティブラーナー」です。でも、多くの皆さんは、授業がなかったので、うまく過ごすことができなかつたと後悔しているのではないですか。大丈夫です。それが結構普通だと思います。でも、これからの時代に大切なことは、「自ら学びをデザインできる主体性」だと思います。それができる人が「シン・アクティブラーナー」です。明日からの春休みにチャレンジしてください。
- そして、今日学校に来て、多くの皆さんが「学校っていいな」と感じたのではないのでしょうか。そして、「授業を受けたいな」と思ったのではないのでしょうか。皆さんの明るい声の聞こえない学校は、とても静かで、私も先生方もとてもさみしかったです。私は、学校は「自由の相互承認の場」だと思っています。よって、やはり、皆さんが教室に集まって楽しく学び合うことが大切なのです。今世界は、大変な状況にあります。でも、冬は必ず開けます。そして、春は必ず来ます。それまで、みんなで頑張りましょう。
- 次に、3月1日に卒業した7回生の先輩たちの大学合格状況についてお話しします。国公立大学前期日程の発表が終わった3月10日時点の合格状況については、ホームページトップページの左上に掲載するとともに、進路室前にも掲示してあります。日本で最も入ることの難しい、東京大学に8名が合格しました。昨年卒業した6回生2名も合格しましたので、合計10名が東京大学に合格しました。開校以来の目標であった2桁合格をついに達成しました。現役合格率では、2年連続で茨城県トップです。すでに、現役で70名が国公立大学に合格しています。明日から、後期日程の発表がありますので、7回生は過去最高の合格実績を達成すると思います。
- 本校は、開校12年目のまだ新しい学校です。しかし、生徒の皆さんの学びに対する積極性と、先生方の教育に対する情熱によって、ここまで来ました。今や全国から注目される存在となりました。「並木の奇跡」と呼ばれる日も近いと思います。
- 最後になりますが、私は3月31日で定年退職となり、この学校を去ります。37年間の教員生活の最後の4年間、並木中等教育学校の校長をつとめることができ、本当に幸せでした。生徒の皆さん、そして先生方、本当にありがとうございました。

